

# マコモの里、秋深まる菰野を訪ねる

主催：みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会  
 三重県四日市地域防災総合事務所  
 協賛：四日市市・菰野町・朝日町・川越町・菰野町観光協会  
 協力：菰野町郷土研究会

**街道ウォーク開催報告**  
**<平成26年10月25日(土)>**  
**開催しました**

過去に開催したウォークの中で、『もう一度参加したい企画!』のアンケート結果(23年度実施)、上位にランクされた中から行程をややアレンジして開催しました。

秋晴れ、絶好のウォーキング日和に恵まれ、82名の参加者は近鉄湯の山線菰野駅に集合、菰野町郷土研究会会員らの解説を聞きながら、マコモの自生地や、土方家の菩提寺見性寺、廣幡神社などを見学し、道の駅「菰野ふるさと館」までの約5キロをウォークしました。



菰野町より「こもしかオリジナル缶バッチ」をプレゼントしていただきました。さっそく胸につけてスタートしました。

菰野駅前集合

マコモ自生地



←菰野町でマコモの普及に努めている大橋さんが詳しく説明してくださいました。“菰野”という町名の由来とも言われています。  
 菰野町の特産品となった今では多くの食材(うどん、そば、ケーキ、大判焼きなど)として道の駅や町内の産直などで広く販売されています。

↑生のマコモを試食する参加者の皆さん。  
 “初めて食べたけど、柔らかくて甘い”と、ヘルシーさが好評でした。

浄閑池

灌漑用湧水池。  
 豊かな水が湧き出ており、福村地区の有志によって鯉が飼育されています。



五郎兵衛地藏



昔から庶民の厚い信仰を受け、民話としても語り継がれています。

西覚寺

山号額（真谷山）は菰野藩7代藩主・土方雄年の書です。  
 安政元年（1854）に起きた安政伊賀大地震で、伊勢国内の多くの神社仏閣は倒壊しましたが、頑丈な鍛葺き（しころぶき）による本堂は殆どが倒壊を免れました。  
 現在、鍛葺きの本堂は北伊勢地域では、西覚寺しか残っていない貴重な建造物です。鍛とは、兜や頭巾などの下部に布や織などを垂らし後頭部を保護する覆いのことで、建築では板に段をつけて並べたもの「羽板、鎧板」のことを「鍛板」ともいいます。



←協議会委員から建造物の解説を聞きました。

見性寺

↑土方家の菩提寺、見性寺（臨濟宗・妙心寺派）へ向かいます。



**真如山 見性寺** 臨濟宗妙心寺派  
 この寺は菰野藩主土方家の菩提寺であり、第二世藩主は寛政二十年（1808）に尾張の三寶院を招き、日蓮宗であるこの地を選び見性寺を創建しました。土方氏は初代大和守に任ぜられ、後に尾張に移り、藩政の運営に力を注ぎました。雄久の七男と信長の子信雄の重臣となり、信長の具に討死したと多く、特に秀次は謀られて各地に流される悲運に陥りました。雄久は、藩に忠告の途に際し、東に下り、家康が天下を取るに雄久の子雄次が菰野城（今の三石）から出陣し、その後、江戸参府にあり、第十世雄永まで二百七十年間、菰野領を統治しました。  
 藩祖の雄久夫人は信長の孫女八重姫であり、九十二歳の長寿を享せ、藩の創立期に大に内助の功がありました。歴代藩主夫人の墓は、本堂左手の山内にあり、土藩の墓所として、並んでいます。創立当初の本堂は、雄山門などの建物は、初代藩主雄久の再建、享保十一年（1726）開闢以来、第三世雄盛夫人の寄進した鍛板が現存します。



↑豪壮な山門は大名の菩提寺たる格式を備えています。  
 ←土方家墓地は急な階段の奥にあります。



協議会委員から土方家について詳しい解説を聞きました。



**土方家墓地（菰野町指定文化財）**  
初代・菰野藩主となった雄氏の正室・八重姫は、織田信長の孫娘に当たり、東側の墓地に立派な墓碑があります。藩の創立期に内助の功を發揮したといわれています。  
.....  
「縁博みえ2014」との交流、連携により参加者らは幟旗にサインしました。→



**廣幡神社**



土方家が建立した八幡社で、明治の神社合祀令により、廣幡神社となりました。



菰野懸の碑！

**菰野城跡**



角櫓の解説・・・領民たちが自分たちの殿様のために建造した築城秘話を菰野町郷土研究会の方から聞きました。



菰野藩（1万2千石）の城跡の石碑



道の駅「菰野ふるさと館」で解散となりました。（お疲れ様でした）

ご参加いただきました皆さまありがとうございました。